

大淀中学校便り

大阪市立大淀中学校

令和5年4月27日発行

入学式・学校長式辞

4月5日(水)、令和5年度入学式を挙行いたしました。第79期生131名の新入生が入学しました。

ご来賓の皆さまには、ご臨席いただくことができませんでしたが、保護者の皆様の人数制限を設けず、2・3年生の在校生も参列して入学を祝いました。



新年度を迎えるにあたり、入学式の式辞の内容を一部抜粋してご紹介することで、ごあいさつにかえさせていただきます。

新入生の皆さんに入学式に際して、覚えてほしい言葉があります。
アルファベットで4文字「G・R・I・T」
グリット「やりぬく力」です。

「G」はGuts(ガッツ)根性

「R」はResilience(レジリエンス)粘り強さ

「I」はInitiative(イニシアチブ)主導権

「T」はtenacity(テナシティー)粘り強さ

この頭文字をつなげたことばです。

GRITを発表した、アメリカ・ペンシルヴァニア大学のアンジェラ・リー・ダックワース教授は「勉強でも、スポーツ選手でも、社会においても、天才に近づくには才能や学力ではなく、やり抜く力こそが、最も必要である、人生の成功に最も重要な能力は「GRIT(やりぬく力)」であると言われています。

さらに、『「好きにならないと努力できない」、その「好き」という思いは、簡単に手に入らない。そこで、とりあえず、いいと思ったことはやってみる。「簡単に見つけようとは思わず、よさそうだなと思えることを見つけるだけでいい」。「なんでも実際にやってみて、しばらく続けてみなければ、自分に合うかどうかわからない』』とされています。

これから始まる中学校生活で、様々なことにチャレンジして、自分の好きなことを見つけてください。そして、GRITでやり抜いてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、厳しさの中にも、愛と温もりを持って自立を促すよう、教職員一同、生徒の支援に努めて参ります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1学期 始業式

4月10日(月)、令和5年度始業式を行いました。

初めに、令和5年度に新しく赴任された新転任の先生方を紹介する着任式を行いました。続いて、始業式が行われ、校長先生から新しい学級担任や学年所属の先生方を紹介

していただきました。1学期開始の校長講話は、入学式の式辞の内容を、要点をまとめてお話しいただきました。最後に、生徒会主体の対面式が行われました。在校生代表の「歓迎のことば」と新入生代表の「誓いのことば」が述べられました。



上:対面式の様子

右:新入生代表が
「誓いのことば」を
述べています



■ オリエンテーション ■

4月11日(火)、オリエンテーションを行いました。

1年生は、入学式、始業式に続き、中学校の登校が3日目になります。この日は、基本的な生活内容、校舎案内、身体測定と視力検査などが行われました。

2・3年生は、校舎案内以外は1年生と同じ内容で行われ、さらに2・3年生は授業が行われました。

5限後、1年生全員と2・3年生の部活動代表生徒による部活動紹介が行われました。

説明だけではなく、各部のデモンストレーションもあり、どの部活も工夫を凝らした内容で、発表が終わるたびに1年生から大きな拍手が送られていました。

4月26日(水)に部活動編成が行われ、1年生も含めた新しい活動がスタートします。



上:少林寺拳法部



左:男子ハンド
ボール部

■ 防災について考える日 ■

4月22日(土)、消防隊の協力のもと、避難訓練、防災訓練、集団下校が行われました。

防災訓練は学年ごとに分かれ、1年生は防災学習クイズ、煙体験、起震車体験、バケツリレーなど体験型学習に取り組みました。

2年生は、胸骨圧迫やAEDを用いた心肺蘇生法を学びました。

3年生は班に分かれ災害図上訓練(DIG)を行いました。生徒自身の居住エリアで災害が予測される場所や避難場所になりそうな箇所、公衆電話の場所まで確認し、事前に心構えとして気をつけておくことを発表しました。

最後は災害時に備え、教師引率で集団下校を行い、防災について考える日となりました。

右:1年生の
起震車体験
の様子。南海
トラフ地震を
想定した揺れ
を体験してい
ます。



左:2年生は
胸骨圧迫の
方法やAED
の使い方と
周囲の安全
確認を学び
ました。